



Team石川



小中一貫CSだより第11号

平成29年7月20日発行 石川小・中学校 文責(松)

弘前市街職場体験学習を「ひろさき卍学」の一環としても行いました。

6月28日(水)29日(木)、中学校2年生35名が、弘前市街での職場体験学習を弘南電鉄・大鰐線を利用して行いました。(体験先は18カ所)職場体験学習のねらいは「望ましい職業観・勤労観を身に付ける」「社会におけるマナーやコミュニケーション能力を身に付ける」でしたが、職場の担当者の方に、全班が「弘前市が、今後、ますます発展するためにはどんなことが大切だろうか?」という質問をすることにしました。そして、その回答を受けて、自分の考えを書き、弘前市の課題について考える機会を設定し、「ひろさき卍学」の視点も取り入れた学習としました。その中から大湯藍子さんの考えを紹介します。

外国人観光客が訪れるようにするために、日本人の料理のレパートリーを増やし楽しませる。地図や標識なども外国人が分かるようにする。もし、外国人が弘前ってどんな市なんだろう?と分からない人もいると思うので、弘前ならではの印象づけるものを作り、弘前をもっとPRしていけばよい。外国語が分からない職員がいると、弘前に外国人が訪れにくくなるので、外国人専用の職員など外国人の観光客のためにサービスをして、外国人の好感度を上げればよいと思う。

ひろさき卍学 卍シート

中学校2年生 弘前市街職場体験学習

氏名 _____

弘前市が、今後、ますます発展していくためには、
どんなことが大切だろうか?

職場の方の考え

自分の考え

先生から



大仏公園写生大会を「ひろさき卍学」の一環として行いました。



中学校では、「あじさいまつり」が始まって間もない7月3日(月)に写生大会の予定を立てていましたが、生憎の雨で延期になり、7月7日(金)の七夕の日実施することができました。石川地区のシンボルである紫陽花の咲く大仏公園での写生大会はふるさと景観の良さを味わう絶好の機会となりました。

東海教頭先生(美術担当)からは「石川のシンボルでもある大仏公園の風景の中から、美しさやよさを感じ取ろう」という学習課題を与えられ「ひろさき卍学」

としての美術の授業を行うことができました。

写生大会後は、彩色し仕上げ、さらに「石川のシンボルである大仏公園の風景の中からどのような美しさやよさを感じ取ることができたか」という課題に対するまとめを、卍シートに書いて、振り返りを行う予定です。また、生徒の作品には、賞を与え、石中祭で展示する計画ですので、どうぞご来校ください。



